

取締役会の実効性の分析・評価結果の概要

1. 取締役会の実効性に関するアンケートの概要（集計、分析、評価の方法）

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するために、自己評価として取締役会の全メンバー（取締役 11 名及び監査役 5 名）に対するアンケートを実施し、当社取締役会の実効性の分析・評価を行いました。

【実施時期】 2023 年 1 月～2 月まで

【回答者】 取締役及び監査役全員（計 16 名、うち社外役員 7 名）

【内容】 評価方法：無記名式によるアンケート

質問概要：取締役会の構成/運営/議論/モニタリング機能、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主(投資家)との対話、ご自身の取組み、報酬委員会、総括アンケート結果の集計：外部機関にて取り纏め実施

分析・評価：アンケート結果をもとに、取締役会にて取締役会の実効性についての分析と評価を行うとともに今後の課題について議論

2. 分析評価結果の概要

当社取締役会は、アンケートの分析結果及びそれに関する取締役会での審議に基づき、以下の点について、当社の取締役会はその役割期待を適切に果たし、取締役会の実効性が十分に確保できているものと分析・評価しております。

- （1）取締役会の開催頻度・審議項目数は適切であり、審議に必要な時間は十分に確保されていること
- （2）取締役会において、経営陣や支配株主等の関連当事者との利益相反について、取締役会の承認等により適切に管理されていること
- （3）株主（投資家）との対話の状況について、取締役会へのフィードバックがなされていること

一方で、今後改善すべき点として以下の点が挙げられました。

- （1）知識・経験・専門性、職歴、年齢、ジェンダー、国際性等の観点での多様性ある構成の検討
- （2）社内役員と社外役員間の十分な意思疎通と、取締役会の場以外での社外役員間の意見交換実施
- （3）役員に求められているトレーニング（役割・責務に対する必要な知識の習得等）の機会の充実

3. 今後の対応について

今回の分析評価結果は、2024 年 3 月期の取締役会の運営課題として対応していくと同時に、中長期的な課題について引き続き取締役会で議論していくことと致しました。また、当社取締役会は、取締役会の更なる機能向上を図るべく今後も継続的に取締役会の実効性評価を行っていく予定です。

以 上